

釜石市

復興「ありがとう」ホストタウンの取組み





本日の項目

- 1. 釜石市の概要
 - 2. ホストタウンについて
 - 3. 取組事例（2017年度～2019年度）
 - 4. 今年度の取組み
 - 5. 今後の展開
- 

釜石市の概要

～鉄と魚とラグビーのまち～

概要

岩手県の南東部、三陸復興国立公園のほぼ中央に位置し、東は太平洋に、西は遠野市と住田町に、南は大船渡市に、北は大槌町にそれぞれ隣接
気候は、海洋の影響と地理的条件から、北東北の中にあっても四季を通じて比較的温暖

近代製鉄発祥の地

安政4（1857）年12月1日、日本初の洋式高炉による鉄の連続生産に成功
「12月1日」は鉄の記念日
2015年7月、橋野鉄鉱山が世界遺産登録

豊富な水産資源

暖流と寒流がぶつかり合う世界三大漁場「三陸漁場」
リアス海岸の天然の良港

ラグビーのまち

新日鉄釜石ラグビー部によるラグビー日本選手権7連覇（1978～1984）
ラグビーワールドカップ2019日本開催の会場地

東日本大震災による被災

- ▶ 平成23年3月11日14時46分
- ▶ 三陸沖を震源とするマグニチュード9.0震度6弱の大地震が発生。最大波9.3mの大津波が釜石市を襲う
- ▶ 死者・行方不明者1,064人、家屋被害は全住居の29%が被災
- ▶ 市内の事業所は57.7%が被災
- ▶ 漁業関係は97.6%が被災



オーストラリアを相手国として なぜオーストラリア？

- ▶ オーストラリア出身で震災当時釜石シーウェイブスRFCに所属していたスコット・ファーディー選手
- ▶ 震災時、自国大使館からの避難勧奨を断り、釜石市のためにボランティア活動に奔走
- ▶ 支援活動で練習不足のチームがプレイする姿に市民は元気づけられた。
- ▶ ファーディー選手は後にラグビーオーストラリア代表としてRWC2015で活躍
- ▶ 2015年から姉妹都市である愛知県東海市を通じて海外体験学習事業として中学生をオーストラリアに派遣

2017年11月17日
復興「ありがとう」ホストタウン 登録



釜石市 【ホストタウン事業】 & 【オリパラ事業】 担当部署

- ▶ 2017年度～ 市民生活部生涯学習文化スポーツ課スポーツ推進係
- ↓
- ▶ 2019年度12月～ RWC2019推進本部事務局国際交流センター（事務移管）
- ↓
- ▶ 2020年度4月～ 文化スポーツ部国際交流課（組織改編）

復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み①

- 2018年3月 スコット・ファーディー選手を招聘しての交流事業
- 市内小学校でのタグラグビー交流
- 市内高校ラグビー部への実技指導
- 市民を対象としたタウンミーティング

協力団体：

釜石シーウェイブスRFC（ラグビー交流補助）

RWC2019釜石開催支援連絡会（交流会）

利比°ック・パ°リビ°ック等経済界協議会（記念品提供）

MLA豪州食肉家畜生産者事業団（オージービーフ提供）

小佐野小学校（交流会開催校）

釜石商工高等学校（ラグビークリニック、交流会）

釜石高等学校（ラグビークリニック、交流会） 等

庁内連携：RWC2019推進本部事務局（国際交流員通訳）

担当課：市民生活部生涯学習文化スポーツ課



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み②

- ▶ 2018年9月
- ▶ オーストラリア（タムワース市）小学生の招聘
- ▶ 市内小学校での異文化交流、ラグビー交流
- ▶ KAMAISHI KIDS TRYに参加（連携事業）

協力団体：

釜石シーウェイブスRFC（ラグビー交流補助）

一般社団法人子どもスポーツ国際交流協会
（KAMAISHI KIDS TRY主催）

釜石小学校（交流会開催校） 等

庁内連携：

教育委員会事務局学校教育課（国際交流事業）

RWC2019推進本部事務局（国際交流員通訳）

担当課：市民生活部生涯学習文化スポーツ課



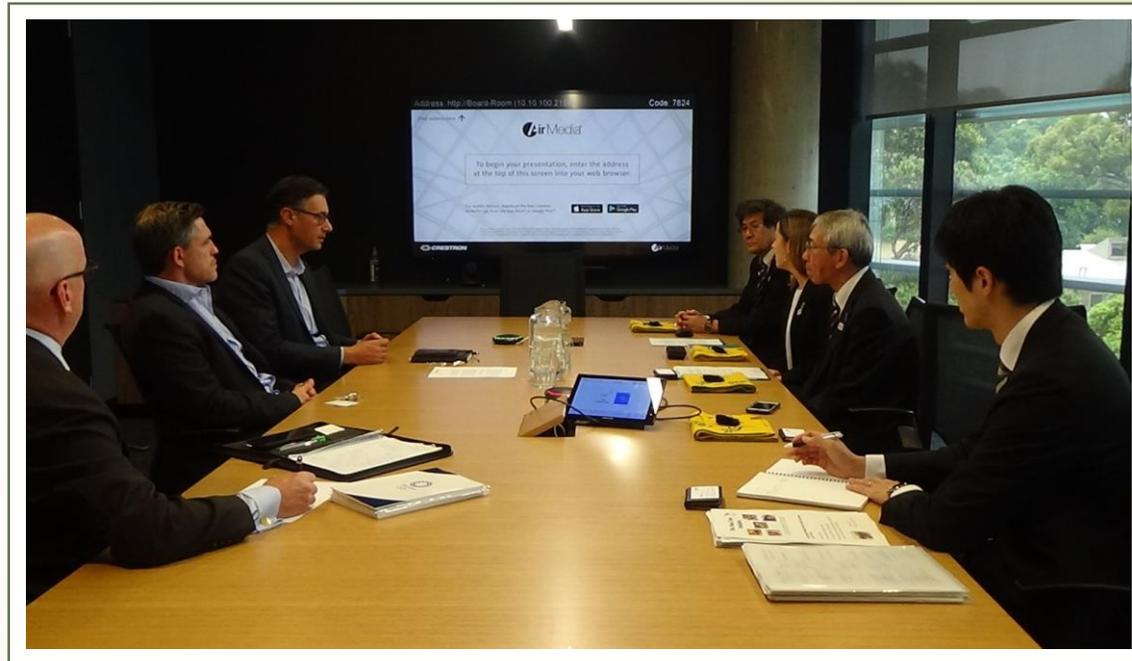
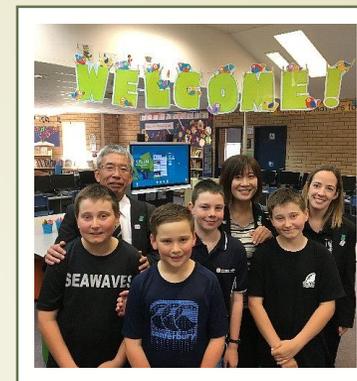
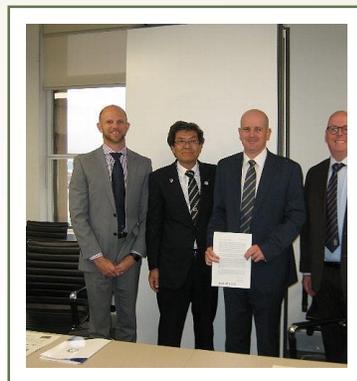
復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み③

- ▶ 2018年11月 オーストラリアを訪問
—震災時の支援に対する御礼と感謝、これからの
交流に対するお願い—

- 訪問先：
豪ラグビー協会
豪オリンピック委員会
在豪日本国大使館
在シドニー総領事館
ブランビーズ
NSW州ラグビー協会ワラターズ
日豪経済委員会
自治体国際化協会シドニー事務所
新日鐵住金オーストラリア支社
クランブルックスクール
カルロッシースクール
タムワース市長 等

庁内連携：RWC2019推進本部事務局（国際交流員
通訳）

担当課 市民生活部生涯学習文化スポーツ課



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み④

- ▶ 2019年9月 オーストラリア高校生、スコット・ファーディー選手の招聘～RWC2019日本大会に併せて～
- ▶ 岩手県高校選抜ラグビーチームとの交流試合
- ▶ 食を通じた異文化交流（せかいむすび）
- ▶ スコット・ファーディー選手と市民との交流

協力団体：

岩手県高等学校体育連盟ラグビー専門部（県選抜高校生の派遣調整、レフリー）

岩手県ラグビーフットボール協会（協力）

釜石シーウェイブスRFC（実技指導補助）

リビ°ック・パ°リビ°ック等経済界協議会（協力）

クラブオーストラリア（交流会通訳、スケジュール調整）等

庁内連携：RWC推進本部事務局

担当課：市民生活部生涯学習文化スポーツ課



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み⑤

2019年11月

- ▶ オーストラリア（シドニー市）小学生の招聘
- ▶ 小田原市小学生を招聘（ホストタウン連携）

- 市内小学校での異文化交流、ラグビー交流
- 市内小学校対抗タグラグビー大会（釜石東ロータリーカップ）に参加
- いのちをつなぐ未来館で津波防災学習

協力団体：

- 釜石シーウェイブスRFC（ラグビー指導）
- 釜石シーウェイブスジュニア（歓迎交流会など）
- 釜石東ロータリークラブ（大会主催）
- 小田原市（ホストタウン連携）
- 小田原市ラグビースクール（子ども参加）
- 双葉小学校（交流事業開催校） 等

庁内連携：

- 教育委員会事務局学校教育課（国際交流事業）
- RWC2019推進本部事務局（国際交流センター：通訳）
- 担当課：市民生活部生涯学習文化スポーツ課



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み⑥

2020年3月

- ▶ オリジナル フレーム切手『釜石市×オーストラリア連邦 復興「ありがとう」ホストタウン記念 フレーム切手』の製作
- 販売開始： 令和2年3月18日（水）
- 枚 数： 500部（うち市で300部買取り。関係者に配布予定）
- 価 格： 1,300円（税込）
- 販売場所： 釜石市の全郵便局及び東京中央郵便局、大手町郵便局（合計14局）
- 「郵便局のネットショップ」でも販売 →いずれも即日完売。

担当課：RWC2019推進本部事務局国際交流センター



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み[番外編]

2020年1～3月

▶ オーストラリア森林火災災害支援金の募金活動

【募金方法】：

- ・口座振込（専用口座を開設）
- ・市庁舎窓口（11カ所）への募金箱の設置
- ・募金（市職員、市内小中学生、市三師会、県内高校生等）

【募金総額】 1,355,469円

【送金方法】 1,354,589円（振込手数料880円を除き）を、在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所（ANZCCJ）を通じて、オーストラリア赤十字社に送金

協力団体：在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所

庁内連携：地域福祉課（募金箱借用、設置）

市民課、各地区生活応援センター（募金箱設置）

担当課：RWC2019推進本部事務局国際交流センター



復興「ありがとう」ホストタウン ～取組みの成果～

▶ 2020年3月

オーストラリア大使館によるスポーツ外交キャンペーン「AUS+RALLY」に参加し、公式パートナー「フレンズ・オブ・オーストラリア」の一員として登録

加入団体：2020年9月時点で、25団体

- ▶ 自治体（18）：神奈川県小田原市、東京都府中市、新潟県長岡市、埼玉県、埼玉県上尾市、千葉県浦安市、東京都武蔵野市、東京都中央区、大阪府茨木市、兵庫県神戸市、茨城県稲敷市、埼玉県戸田市、北海道網走市、岩手県釜石市、東京都オリンピック・パラリンピック準備局、神奈川県藤沢市、神奈川県、埼玉県伊奈町
- ▶ 団体（7）：クラブオーストラリア、Gateway、在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所、関東地区大学準硬式野球連盟、ライフセービング・パトロール・コンペティション実行委員会、東京ゴアナーズ、日本オーストラリアンフットボール協会

⇒効果①各自治体、団体が持つ情報の共有、取組みの連携が容易

②AUSグッズの無償提供やバナーなどのレンタルが可能



今年度 復興「ありがとう」ホストタウン 2020年予定事業 ⇒ 中止

- 3月 市内高校生がオーストラリアを訪問し、ホームステイ、ラグビー交流
中学生海外体験学習事業（東海市合同）
- 4月 オーストラリア（タムワース市）の高校生が来訪し、ラグビー交流
- 5月 東京ハーベスト（駒沢オリンピック公園）にてキッチンカーせかいむすび出店
- 7月 市内小学生が小田原市を訪問し、ラグビー交流（ホストタウン連携）
（ラグビーオーストラリア男女セブンズと五輪直前キャンプでの交流）
- 8月 ホストタウンハウスでのキッチンカーせかいむすび出店
ラグビーオーストラリアセブンズ選手を招聘しラグビー等交流（五輪大会後交流）
- 11月 オーストラリアの小学生を招聘し交流（市内小学校タグラグビー交流大会）

復興「ありがとう」ホストタウン 事業見直し 新たな取り組み

- 7月 ◎ 市民応援動画メッセージ制作（内閣官房）
- 10月 ◎ ホストタウン交流事業紹介広告作成（岩手日報社に委託）
◎ 10/10オーストラリア紹介交流事業（オーストラリアカフェバンに委託）
◎ ホストタウン周知グッズ作成（横断幕、懸垂幕、幟旗、公用車用ステッカー）
◎ SNS等を活用した情報発信（市Facebook、HP、広報）
- 9～11月 ◎ 豪オリンピック委員会主催「ともだち2020」パイロットプログラムと連携
- 12月 ◎ 豪大使館主催 コアラキャンプ オンライン交流（釜石会場：根浜）
- 12～1月 ◎ 釜石・オーストラリア食のコラボ・メニュー開発（釜石DMCに委託）
◎ ホストタウンPR動画作成（三陸ブロードネットに委託）

復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み①

▶ 2020年7月

市民応援動画メッセージ制作

オーストラリアの選手に向けて、市民の応援メッセージを制作し、来年の大会に向けた歓迎の意を発信。

市民の応援メッセージ動画を撮影、編集し、内閣官房ホストタウン特設サイトで紹介。

協力団体：内閣官房オリ・パラ事務局

担当課：文化スポーツ部国際交流課



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み③

2020年10月

10/10オーストラリア紹介交流事業

(RWC1周年メモリアルイベントの中で開催)

委託先 オーストラリアカフェバン (東京都日野市)

- スポーツ体験ブース (オーストラリアンフットボール、クリケット)
- アボリジニ伝統楽器 (ディジュリドゥ) の演奏
- ワイルドフラワー制作体験
- 食文化の紹介

ミートパイ、クッキー、コーヒー、ワインなど

協力団体：オーストラリア大使館 (グッズ借用)

クラブオーストラリア (イベント協力)

釜石観光物産協会 (イベント協力)

庁内連携：スポーツ推進課 (メモリアルイベント主催)

担当課：文化スポーツ部国際交流課



オーストラリア
を体験しよう!

2020.10.10(SAT)
時間 11:00~16:30
場所 スタジアム内 東側

スポーツ体験ブース
*オーストラリアチーム紹介
*オーストラリアフットボール
*クリケット

アボリジニ伝統楽器
*ディジュリドゥ演奏
*ワイルドフラワー

*製作体験ができます
*バーバークラフト

*コアラ *クオッカ
オーストラリアカフェバン
*ミートパイ *コーヒー
*クッキー *ワイン
*ハジメテ

釜石市
オーストラリア
の体験しよう!



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み④

2020年10月

ホストタウン周知グッズの制作

- 横断幕 900mm×5400mm 2枚
900mm×4500mm 2枚
- のぼり旗(黄色、緑色) 各250枚
- 公用車用ステッカー A3楕円 240枚
- 懸垂幕 1800mm×8000mm 1枚

制作委託先：市内印刷業者

庁内連携：庁内全課（公用車への貼付）

担当課：文化スポーツ部国際交流課



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み⑤

2020年9～11月

豪オリンピック委員会（AOC）主催「ともだち2020」パイロットプログラムと連携

2週間に一回程度、オーストラリアの学校とビデオで交流。両国の文化や、日常生活などを紹介（全13本）最終回には、オンラインで交流。

オーストラリア側は、南オーストラリア州のパラヒルズハイスクールの生徒約10名。

釜石市側は、昨年3月にコロナで中止になった海外派遣対象者の市内各中学生8名。

内容：お互いの文化紹介、日常生活、学校生活、震災防災学習など

協力団体：オーストラリア大使館

担当課：文化スポーツ部国際交流課



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み⑥

▶ 2020年12月19日（土）11:00~19:00

KOALA CAMP

オーストラリアの各地と東京、釜石市の各地をインターネット（zoom）でつなぎ、文化・スポーツ・音楽・食等を通じたオンライン交流を実施。

メインスタジオ：在日豪大使館

釜石スタジオ：根浜キャンプ場

オーストラリアサテライトポイント：

シドニー（ヨガ体験・菓子作り）、

ハンターバレー（ワイナリー）、

ゴールドコースト（BBQ実演）、

メルボルン（ジャズ演奏）

主催：KOALA CAMP PROJECT

協力：オーストラリア大使館

株式会社かまいしDMC

担当課：文化スポーツ部国際交流課



復興「ありがとう」 ホストタウン 取り組み⑦

▶ 2020年12月～1月

釜石・オーストラリア食のコラボ・メニュー開発

オーストラリアの食材と、釜石市の食材を掛け合わせたジェラートを開発。

1/22（金）試食会&プレスリリース。2021年オリンピック開催期間まで、魚河岸テラスにて販売予定。

委託先：株式会社かまいしDMC

庁内連携：商工観光課

担当課：文化スポーツ部国際交流課



イメージ

今後の展開

- ▶ 東京2020大会以降の交流
 - ・ オーストラリアラグビー代表選手との交流機会の創出
 - ・ 青少年を中心とした国際交流の継続
 - ・ オーストラリア交流都市の選定
- ▶ 各関係機関との連携
 - ・ 在日オーストラリア大使館
 - ・ 在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所
 - ・ オーストラリアオリンピック委員会
 - ・ クラブオーストラリア
 - ・ フレンズオブオーストラリア加入団体、自治体
 - ・ 内閣官房オリ・パラ推進本部事務局
 - ・ 岩手県オリ・パラ推進室
 - ・ ラグビー協会（日本・県・市）
 - ・ 岩手県高校体育連盟ラグビー専門部
 - ・ 釜石シーウェイブスR F C
 - ・ 釜石シーウェイブスジュニア
- ▶ 釜石鵜住居復興スタジアムの活用
- ▶ RWC 2019™日本大会岩手・釜石開催のレガシー継承



